

平成30年度  
全国学力・学習状況調査の結果  
教科に関する調査の分析と改善の視点

平成30年8月16日

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

## 滋賀県小中学校の教員の皆さんへ

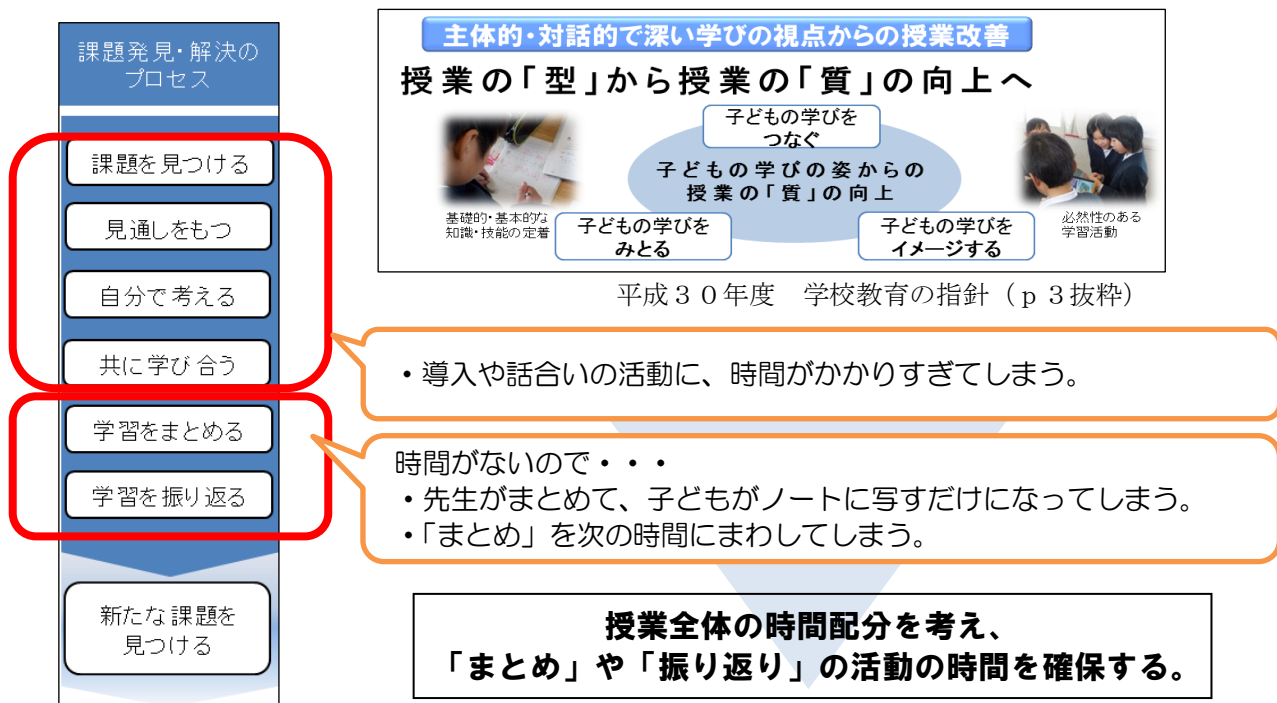
県内小中学校では、将来の担い手となる子どもたちの夢と生きる力を育てるため、「学ぶ力向上 滋賀プラン」の6つの視点に基づき、各校の実情に応じて学ぶ力向上に向けた取組を推進していただいています。また、道徳教育、人権教育、特別支援教育、体力向上の取組など様々な視点からも、一人ひとりの子どもたちを大切にしたい取組を進めていただいているところです。

どの視点も子どもたちがこれからの社会を生きていく上で大切ですが、学力の視点においては、全国学力・学習状況調査の結果から、特に基礎的・基本的な知識・技能の習得において課題が見受けられました。

今後、私たちは、どの子どもたちも、「できなかったこと」や「わからなかったこと」が「できるようになった」「わかるようになった」という喜びや自信をもち、その自信がさらなる向上への力となるよう、取り組んでいかなければならないと思います。

私たちは、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の実現に向けて、「話し合う活動」を取り入れた「課題発見・解決のプロセス」を大切に取り組んできました。学校訪問等を通して、多くの先生方から「話合いの活動」に時間がとられ、「まとめ」や「振り返り」の活動の時間まで確保できないという声を聞いています。

そこでまずは、「まとめ」や「振り返り」の活動の時間を確保した上で、すべての子どもたちが少しでも自分の力で「できた」という実感がもてるよう、一人ひとりの学びを見取りながら、県全体で取り組んでいきましょう。



本冊子は、平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析した上で、子どもたちのつまづきに注目しながら、その改善策を教科ごとに掲載しました。これからの指導の参考にしていただきますようお願いします。

# 【小学校国語】 重点的に取り組むこと

## 目的に応じて読む言語活動の設定 ～読み取ったことをもとにして自分の考えをまとめる活動の充実～

**□書かれていることを単に読むのではなく、何のために、どのような情報が必要か等、目的を明確にして読むことを大切にする。** (ガッテンプリント 読むこと・書くこと 1107 1110)

- ・単元を通した言語活動を設定し、児童に何をどのように読み取らせるのか計画を立てる。
- ・授業中、文章を読ませる際には、課題を解決するために読む、必要な情報を得るために読む、紹介したり説明したりするために読む等、学習活動の目的を児童に確認する。

**□相手を意識した必要な情報を的確に取り出す学習を行う。** (ガッテンプリント 読むこと・書くこと 1108 1109 1110)

- ①読書の量を増やす。読んだ本について、心に残ったことなどを伝え合う。
- ②限られた時間の中で文章を読み、必要な情報だけを取り出す学習。
- ③複数の文章から情報を集め、比較し関係付けて整理する学習。

ピブリオバトル、ブックトーク、アニメーション  
図鑑・新聞等と比較しながら読む 等

【関連する問題 A 3 B 3 一 二】

### ■解答類型から考えられるつまずき

- ③ 書き出しの言葉に続けて、六十字以上、百字以内にとめて書くこと。
- ② 【伝記「湯川秀樹」の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- ① なぜ「自分の力で、やれるところまでやってみよう」という一文に心がひかれたのかを考えて書くこと。

**「自分の力で、やれるところまでやってみよう。」**

C 最も心がひかれた一文とその理由

この言葉は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなかった。と留学の話をつなげた湯川博士の言葉である。湯川博士はおさないうちから、積み木に熱中したり、書道にしよう強く取り組んだり、一度始めたことを最後までやりとげようとしていた。

また、これらのことから「自分の力で、やれるところまでやってみよう」という一文は、ねばり強く物事に取り組む湯川博士のことをよく表していると思った。

わたしは、勉強やスポーツに取り組んでいるとき、どちらかというとあきらめてしまうことがある。これからは湯川博士のように、ねばり強く最後までやりとげようとしていきたい。

(条件) ②

香樹は、大学を卒業した後も引き続き大学に残って研究を続けたが、なかなか成果を出さずできなかった。その世界では、香樹が取り組んでいる研究の分野で新発見が相次いでいた。研究の見通しがつかず、香樹にとって苦しい日々が続いていた。

昼寝を問わず、香樹の頭の中には研究のことがあった。ふとんに入ってからも研究のことを考え、次々に浮かんでくるアイデアをわすれないために、まくらもとにはノートを置くようにした。そして、アイデアを思い浮かべたときに電灯をつけてノートに書きこむようにし、ねばり強く考え続けていた。香樹は、だれも知らない真実を探ろうとしていたのである。

(条件) ①

B 家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなかった。自分の力で、やれるところまでやってみよう。何度失敗してもよいと考えた。

B 3 二

山下さんは、最も心がひかれた一文として、Bの中から「自分の力で、やれるところまでやってみよう。」を選びました。そして、「ノートの一部」のCを書くために、もう一度伝記「湯川秀樹」を読み返しています。次の【伝記「湯川秀樹」の一部】を読み、Cの内容に入る内容を、おどの条件に合わせて書きましょう。

誤答から見たつまずき (滋賀県平均正答率 50.3%)

- 【つまずき 1】** 滋賀県誤答の割合 21.8%  
(条件①) (条件②) の両方満たしていない。
- 【つまずき 2】** 滋賀県誤答の割合 7.8%  
(条件①) は、満たしているが、(条件②) が満たしていない。

自分の考えの理由を説明するために根拠となる叙述を取り上げるという目的をもって読むことに、課題がある。また、全国と比べて無解答(14.2%)が多い。

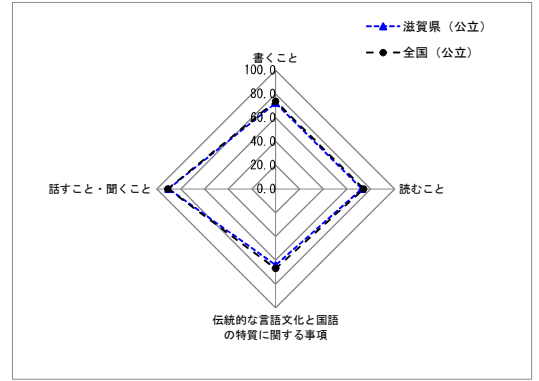
問題別調査結果 【国語A：主として知識】  
滋賀県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立）	全国（公立）	対象児童数	滋賀県（公立）	全国（公立）
	223	19,386		13,198	1,030,025
分類	区分		対象問題数（問）	平均正答率（%）	
	全体			滋賀県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと		1	90.3	90.8
	書くこと		1	72.3	73.8
	読むこと		2	72.4	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		8	64.2	67.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度		0		
	話す・聞く能力		1	90.3	90.8
	書く能力		1	72.3	73.8
	読む能力		2	72.4	74.0
	言語についての知識・理解・技能		8	64.2	67.0
問題形式	選択式		11	71.7	73.9
	短答式		1	32.7	35.5
	記述式		0		

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				正答率（%）		無解答率（%）		県正答率
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す	3・4イ				90.3	90.8	0.1	0.1	90.3
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切なものを選択する	自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える		5・6イ			72.3	73.8	0.3	0.3	72.3
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、【オムレツのページ】をどのように読めばよいか、適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を捉える			3・4イ		73.2	73.9	0.3	0.2	73.2
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情について、情景描写を基に捉える			5・6エ		71.6	74.0	0.4	0.3	71.6
5	【春休みの出来事の一部】の中で、----部と----部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す	文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く			3・4(1)イ(キ)		32.7	35.5	5.0	3.9	32.7
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択する（心を打たれる）	日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う			3・4(1)ア(イ)		89.0	90.4	1.9	1.4	89.0
7	【話を聞いている様子の一部】の【ア】、【イ】に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する	相手や場面に応じて適切に敬語を使う			5・6(1)イ(ウ)		57.5	56.0	3.9	2.7	57.5
8ア	文の中で漢字を使う（せい造）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6(1)ウ(ア)		70.3	73.4	7.7	5.2	70.3
8イ	文の中で漢字を使う（せつ備）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6(1)ウ(イ)		78.6	82.2	9.4	6.3	78.6
8ウ	文の中で漢字を使う（しょう毒）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6(1)ウ(ウ)		77.6	82.2	10.0	6.6	77.6
8エ	文の中で漢字を使う（かん理）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6(1)ウ(エ)		60.0	65.0	11.2	7.4	60.0
8オ	文の中で漢字を使う（せつ極的）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う			5・6(1)ウ(オ)		47.9	51.4	11.8	7.7	47.9



# 【小学校算数】 重点的に取り組むこと

## 「自分の力で解けた」「よりよく解けた」の積み重ね ～全員に学びの実感・定着を促す時間の確保～

### □授業の終わり 10分間を学びの実感・定着を促す時間にする。

- ・単元全体を見通した計画を立て、本時の付けたい力を明確にし、指導の重点を絞ることで、学習活動を吟味し、授業の終わり 10分間の時間を生み出す。

### □適用問題や評価問題に取り組みせ、全員に本時の学びの定着を図り、子どもの学びを見取る。

- ・本時の学習のねらいが達成できたかどうかを確認するため、適用問題に取り組み、子ども自身が「一人でできた」「分かった」を実感する。また、理解をより確実にするため、子どもたち一人ひとりが本時に学習したことを説明する活動を通して、全員が説明できるかどうかペアで確かめ合う時間を設ける等、全員に本時の学びの定着を図る。

### □学習内容の系統性を意識して指導する。

- ・前時までの学習と本時の学習の違いを明確にし、既習の学習で使えそうな見方・考え方をもとに本時の見通しをもたせる。
- ・本時の終わりに、「何が分かったのか」「何ができるようになったのか」「どのような考え方が解決に結び付いたのか」などの視点をもとに振り返り、学びを実感させる。

### ■解答類型から考えられるつまづき

A 2

答えが  $12 \div 0.8$  の式で求められる問題を、下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1 m の重さが 12 kg の鉄の棒<sup>ぼう</sup>があります。  
この鉄の棒 0.8 m の重さは何 kg ですか。
- 2 0.8 L で板を 12 m<sup>2</sup> ぬることができるペンキ<sup>ペンキ</sup>があります。  
このペンキ 1 L では、板を何 m<sup>2</sup> ぬることができますか。
- 3 赤いテープの長さは 12 cm です。  
白いテープの長さは、赤いテープの長さの 0.8 倍です。  
白いテープの長さは何 cm ですか。
- 4 長さが 12 m のリボン<sup>リボン</sup>を 0.8 m ずつ切っていきます。  
0.8 m のリボンは何本できますか。

小数のかけ算・わり算：ガッテンプリント 503～506

【関連する問題 A 1 (2) (3) A 4 (2) A 8】

解答類型									
1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答
34.0	1.8	2.3	1.8	7.1	6.0	2.1	23.0	20.4	1.4
39.9	1.6	2.0	1.4	6.1	6.0	1.9	21.5	18.6	1.0

1	◎	2, 4 と解答しているもの
2		1 と解答しているもの
3		2 と解答しているもの
4		3 と解答しているもの
5		4 と解答しているもの
6		1, 2, 4 と解答しているもの
7		1, 2 と解答しているもの
8		1, 4 と解答しているもの
99		上記以外の解答
0		無解答

↑ 上段は滋賀県の割合、下段は全国の割合  
滋賀県の正答率 34.0%  
全国の正答率 39.9%

「4」を含めて解答している子どもの割合は合計 70.1%以上いるが、「2」を含めて解答している子どもの割合が小さいことから、「1あたりの量」を求める割り算の意味理解に課題がある。

B 4 (2)

【はるなさんの説明】

横に並んでいる 5 つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和 90 は、真ん中の数 18 の 5 倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が 7 つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

- (2) 2 の段<sup>ぐん</sup>の横に並んでいる 7 つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と数を使って書きましょう。

【関連する問題 B 4 (1)】

解答類型		
滋賀県の正答率	55.9%	全国比 -3.6%
滋賀県の無解答率	13.4%	全国比 +2.1%
説明をしようとしているが、言葉や数が不足した不十分な説明の割合の合計	21.4%	

学習したことを数字や場面を変えて適用・活用し、数学的に表現することに課題がある。



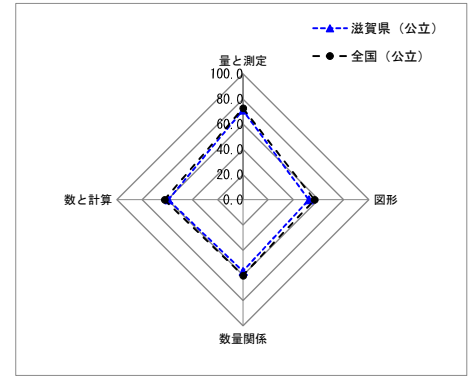
問題別調査結果 [算数A：主として知識]  
滋賀県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立）	全国（公立）	対象児童数	滋賀県（公立）	全国（公立）
	223	19,384		13,198	1,030,013
分類	区分		対象問題数（問）	平均正答率（%）	
				滋賀県（公立）	全国（公立）
全体			14	60	63.5
学習指導要領の領域	数と計算		5	59.2	62.3
	量と測定		4	71.2	72.7
	図形		3	52.4	56.9
	数量関係		5	56.8	60.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度		0		
	数学的な考え方		0		
	数量や図形についての技能		5	58.8	63.0
	数量や図形についての知識・理解		9	61.3	63.8
問題形式	選択式		10	58.6	61.8
	短答式		4	65.1	67.8
	記述式		0		

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率（%）		無解答率（%）		県正答率
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1 (1)	針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く	除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	4A(3)イ 5A(3)			5D(1)ア	61.8	62.9	2.0	1.7	61.8
1 (2)	針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線のどこに当てはまるかを選ぶ	1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる	5A(3)ア				62.6	66.7	3.1	2.4	62.6
1 (3)	針金1mの重さを求める式を選ぶ	1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している	5A(3)ア			5D(1)ア	62.8	65.3	2.9	2.2	62.8
2	答えが12÷0.8の式で求められる問題を選ぶ	小数の除法の意味について理解している	2A(4)ア 4A(3)イ 5A(3)ア				34.0	39.9	1.4	1.0	34.0
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	十進位取り記数法で表された数の大小について理解している	2A(1)イ				75.0	76.4	1.6	1.3	75.0
4 (1)	面積がそろっている①と②の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している	5B(4)ア				90.8	87.8	0.7	0.6	90.8
4 (2)	③と④の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している	5B(4)ア				47.1	50.1	1.5	1.0	47.1
5 (1)	角①の角の大きさが、何度であるかを選ぶ	180°の角の大きさを理解している	4B(2)アイ				93.0	94.4	1.6	1.1	93.0
5 (2)	分度器の目盛りを読み、180°よりも大きい角の大きさを求める	180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めることができる	4B(2)アイ				53.8	58.5	2.0	1.5	53.8
6	空間の中にあるものの位置を正しく書く	示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる			4C(3)		69.7	73.5	4.5	3.3	69.7
7 (1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ	円周率の意味について理解している			3C(1)ウ 5C(1)エ		36.0	41.6	4.3	3.2	36.0
7 (2)	円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ	直径の長さと円周の長さの関係について理解している			3C(1)ウ 5C(1)エ	5D(1)ア	51.4	55.6	5.1	3.6	51.4
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	百分率を求めることができる			5D(3)		49.3	52.9	6.4	4.6	49.3
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる			4D(1)ア 4D(4)イ		58.8	63.6	10.8	7.2	58.8

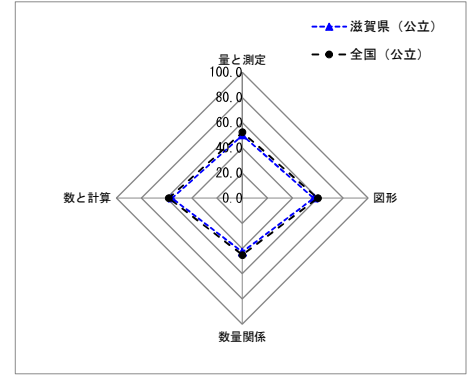
問題別調査結果 [算数B：主として活用]  
滋賀県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立） 223	全国（公立） 19,380	対象児童数	滋賀県（公立） 13,204	全国（公立） 1,029,847
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体		10	49	51.5	
学習指導要領の領域	数と計算	6	55.9	58.4	
	量と測定	4	50.1	52.4	
	図形	2	56.8	59.9	
	数量関係	5	42.8	45.1	
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	46.7	49.2	
	数量や図形についての技能	0			
	数量や図形についての知識・理解	1	68.5	71.7	
問題形式	選択式	3	52.0	54.0	
	短答式	2	63.4	66.6	
	記述式	5	41.2	43.9	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		県正答率
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1 (1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる			2C(1)イ 3C(1)ア 4C(1)イ 5C(1)アイウ		68.5	71.7	0.2	0.3	68.5
1 (2)	一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く	図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が360°になっていることを記述できる		4B(2)アイ	3C(1)ア 4C(1)イ 5C(1)アイウ		45.1	48.2	17.3	14.4	45.1
2 (1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何かを書く	示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができる	1A(2)ア 2A(2)ア		3B(3)イ	2D(1)	67.7	70.5	1.5	1.5	67.7
2 (2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる	3A(2)イ 2A(2)イ 3A(3)イ		3B(3)アイ	3D(3)	47.3	47.9	1.7	1.6	47.3
3 (1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる				3D(3)ア	17.5	20.7	20.9	18.0	17.5
3 (2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる				3D(3)ア 5D(4)	22.3	23.9	1.2	1.1	22.3
4 (1)	「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	示された考え方を解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる	2A(1)エ 2A(3)ウ 3A(3)ウ			4D(2)ア 4D(3)ア	59.0	62.7	8.3	6.2	59.0
4 (2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	示された考え方を解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる	2A(2)ア 2A(3)ア 2A(3)ア 4A(3)イ				55.9	59.5	13.4	11.3	55.9
5 (1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる	2A(3)ア 2A(3)イ 3A(4)ア 4A(3)イ		2B(1)ア		40.1	43.2	18.0	16.6	40.1
5 (2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる	1A(1)イ 2A(1)ア 3A(4)ア 4A(3)イ 5A(1)イ				65.2	66.5	8.7	8.3	65.2



# 【小学校理科】重点的に取り組むこと

## 「考察」を大切にした授業づくり ～「より妥当な考えをつくりだす力」を育てる～

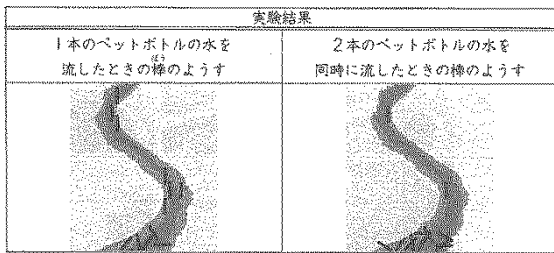
- 理科の問題解決の過程
- 自然事象に対する気付き
  - 問題の見だし 予想・仮説の設定
  - 検証計画の立案
  - 観察・実験
  - 結果の整理
  - 考 察**
  - まとめ

- 「結果」と「考察」を区別して指導する。
  - ・「結果」は事実、「考察」は解釈。考察では、「このことから…が分かる。」のような話型を使って、実験結果（事実）からどのようなことが言えるのかを考えていく。
- 観察・実験をするだけでなく、その後の「考察」を大切にする。
  - ・①自分の考えをもつ。②自分の考えを書く。③自分の考えを基にペアやグループ、全体で話し合う。3つのステップで「考察」に時間をかける。
  - ・特に③の「話し合い活動」を充実させる。様々な異なる意見の中から合意形成を図ることで「より妥当な考えをつくりだす力」を育てる。

【関連する問題 2 (3)・2 (4)・4 (2)・4 (4)】

### ■解答類型から考えられるつまずき

2 (3) <滋賀県の正答率 19.4% 全国の正答率 20.1%>



(3) 上の実験の結果から、川を流れる水の量が増え、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずれられ方は、どのようになると考えられますか。下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを実験結果の「水の量」と「橋のようす」がわかるようにして書きましょう。

- 1 外側も内側もけずれられる。
- 2 外側も内側もけずれられない。
- 3 外側だけがけずれられる。
- 4 内側だけがけずれられる。

【A】番号を「1」と解答した子どもの割合  
滋賀県：42.8%  
全国：41.7%

←実験の目的を正しく把握できていないことに課題がある。

【B】番号を「1」と解答し、正答を記述した子どもの割合  
滋賀県：19.4%  
全国：20.1%

←考察した内容を記述することに課題がある。

実験結果を基に分析して考察したことを、キーワードを用いて的確に記述することに課題がある。

**<学習指導に当たって>**  
実験の目的を確認し、結果からどのようなことが言えるのか、「何となく」ではなく、考えの根拠となる事実を明確にした「考察」を大切にする。

### <解答類型>

	解答類型								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
滋賀県	6.2%	1.9%	11.3%	10.3%	6.9%	0.5%	4.2%	1.5%	57.2%
全国	6.3%	1.7%	12.1%	9.8%	6.5%	0.5%	3.7%	1.1%	58.3%
	正答				誤答				

### 【正答の条件】番号を「1」と解答し、次の①、②の全てを記述している。

- ①「2本のペットボトルの水を同時に流して、水の量を増やすと」など、条件について、一度に流す水の量を増やしたことを示す趣旨で解答しているもの
- ②「みぞの曲がっているところの外側と内側の両方も橋がたおれたから」など、実験結果について、溝の曲がっているところと外側と内側の両方で橋が倒れた様子を示す趣旨で解答しているもの

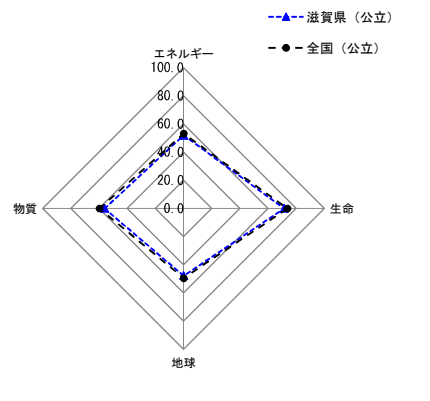
1	①、②の全てを記述しているもの
2	②のみを記述しているもの
3	条件について、流した水の単位時間あたりの量の増加ではなく、総量の増加を示す趣旨と②を記述しているもの
4	①のみを記述しているもの
5	条件について、流した水の単位時間あたりの量の増加ではなく、総量の増加を示す趣旨を記述しているもの
6	条件について、流した水の単位時間あたりの量の増加ではなく、水の勢いや速さを示す趣旨を記述しているもの
7	類型1から類型6以外の内容で記述しているもの
8	無回答
9	番号を「1」以外で解答

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立）	全国（公立）	対象児童数	滋賀県（公立）	全国（公立）
	223	19,278		13,207	1,029,828
分類	区分		対象問題数（問）	平均正答率（%）	
				滋賀県（公立）	全国（公立）
全体			16	58	60.3
枠組み	主として「知識」に関する問題		3	74.0	78.0
	主として「活用」に関する問題		13	55.0	56.2
学習指導要領の区分等	A区分	物質	4	56.2	59.8
		エネルギー	4	51.9	53.1
	B区分	生命	4	71.4	73.6
		地球	6	47.8	49.5
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度		1	81.4	82.1
	科学的な思考・表現		12	52.3	54.1
	観察・実験の技能		1	66.0	71.1
	自然事象についての知識・理解		2	77.7	81.5
問題形式	選択式		13	61.7	63.8
	短答式		1	74.6	79.4
	記述式		2	26.6	28.0

＜学習指導要領の区分等の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み		学習指導要領の区分等		正答率（%）		無解答率（%）		県正答率
			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	A区分	B区分	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1 (1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ	安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる	○			4B (2)ア	81.4	82.1	0.0	0.0	81.4
1 (2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまともめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ	調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる	○			4B (1)ア	75.5	76.2	0.1	0.1	75.5
1 (3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している	○			4B (1)イ	74.6	79.4	4.9	3.8	74.6
1 (4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型を使って説明できる内容を選ぶ	人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる	○			4B (1)アイ	54.0	56.6	0.5	0.4	54.0
2 (1)	流されてきた土や石を積もらせる水の動きを表す言葉を選ぶ	堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している	○			5B (3)ア	80.8	83.6	0.1	0.1	80.8
2 (2)	流れる水の動きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面上に水を流したときの立った様子の様子を比べる	土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	○			5B (3)ア	53.4	55.4	0.3	0.3	53.4
2 (3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる	○			5B (3)ウ	19.4	20.1	1.3	1.0	19.4
2 (4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる	○			5B (3)ウ (4)アイ	58.8	59.8	0.4	0.3	58.8
3 (1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ	乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる	○			4A (3)ア	63.0	63.5	0.3	0.3	63.0
3 (2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ	電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる	○			4A (3)ア	45.2	47.7	0.5	0.5	45.2
3 (3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ	実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる	○			4A (3)ア	58.7	59.4	0.7	0.6	58.7
3 (4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中の光電池の適切な位置や向きを選ぶ	太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる	○			4A (3)イ (3)ア	40.6	41.9	0.6	0.6	40.6
4 (1)	ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する方法を選ぶ	ろ過の適切な操作方法を身に付けている	○			5A (1)イ	66.0	71.1	0.5	0.5	66.0
4 (2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ	より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる	○			5A (1)イウ	88.0	89.4	0.5	0.6	88.0
4 (3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ	物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる	○			5A (1)ウ	37.0	42.7	1.3	1.3	37.0
4 (4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く	実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる	○			4A (2)ウ (5A (1)イウ) (3)イ	33.9	35.9	11.7	8.9	33.9

## 【中学校国語】重点的に取り組むこと

### 「学んだこと」を具体的に書く活動の充実 ～単元の終わりや授業の終末時間の継続的な指導～

□「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のどの領域の学習でも、「学んだこと」を具体的に書く指導をする。

- ・授業で習った言葉や教科書に書いてある語句を整理して、学んだ内容を文章にまとめる。
- ・主語述語の整った文で書く、接続語を使って文章にするなどの条件を設ける。
- ・導入の時間を5分程度にし、終末の時間に10分程度は書く時間を確保して実施する。
- ・毎時間、指導を継続し、どの教科にも活用できる土台にする。

#### ■解答類型から考えられるつまずき

#### B3三：相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く問題

次の文章は、古典を現代語に訳したものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

(川端義明『宇治拾遺ものがたり』の「夢を買った話」による。)

この話のあらすじを学級の友達に説明しようと思います。あなたならどのように説明しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。

条件2 七十字以上、百二十字以内で書くこと。

問題番号	問題の概要	解答類型										
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答	
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	26.7	16.9	0.6	33.8						3.1	19.0
		30.3	18.9	0.8	34.7						2.8	12.4

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 話の展開を適切に取り上げて書いている。 ② 七十字以上、百二十字以内で書いている。		↑上段は滋賀県の割合、下段は全国の割合 滋賀県の正答率 43.5% 全国の正答率 49.2% 全国との差 -5.7%
1	◎ 条件①、②を満たしているもののうち、話の全体を取り上げて解答しているもの	
2	◎ 条件①、②を満たしているもののうち、話の一部分を取り上げて解答しているもの	
3	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
4	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

【解答類型4】(33.8%)は、話の展開を適切に取り上げて書くことができていない。また、【無解答】(19.0%)も多い。

【解答類型4】の例には、次のようなものがある。

#### 【話の展開を取り上げていない】例

私はこの話を読んで、夢をとることは恐ろしいと思いました。もし、自分の夢を取られていたら、夢をかなえられなくなります。自分の夢を人に話すのはやめようと思います。(80字)

#### 【話の展開を誤っている】例

ひきのまきひとが、気になる夢をみたので夢うらないの女にみてもらおうと、大臣になるすばらしい夢だと言われた。なので、ひきのまきひとはひたすら勉強し、大臣になった。(80字)

誤答の例は、自分の感想(波線部分)のみを述べ、話の展開を取り上げて書くことができていないものや、話の展開を適切に捉えて書くことができていないものである。

情報を整理して内容を的確に捉えることに課題がある。

【関連する問題 A : 6一・6二・8四2 B : 1三・2二】

問題別調査結果 [国語A：主として知識]

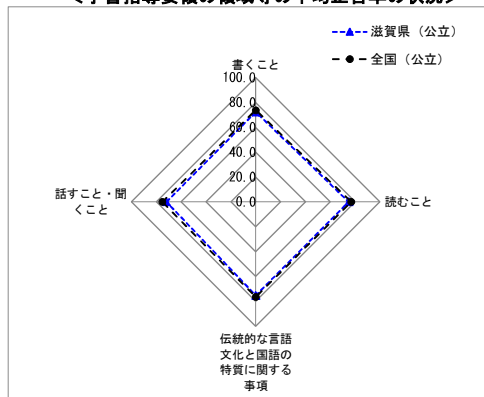
滋賀県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数		滋賀県（公立）	全国（公立）	対象生徒数		滋賀県（公立）	全国（公立）
		102	9,595			12,405	966,764
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）				
			滋賀県（公立）	全国（公立）			
全体		32	75	76.1			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.9	75.2			
	書くこと	4	72.3	73.9			
	読むこと	4	74.8	76.7			
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	75.3	76.5			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0					
	話す・聞く能力	3	71.9	75.2			
	書く能力	4	72.3	73.9			
	読む能力	4	74.8	76.7			
	言語についての知識・理解・技能	21	75.3	76.5			
問題形式	選択式	21	75.2	76.8			
	短答式	11	73.2	74.7			
	記述式	0					

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				正答率（%）		無解答率（%）		県正答率
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1-1	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ				85.9	87.4	0.2	0.1	85.9
2-1	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する		1 イ			88.8	89.5	0.6	0.3	88.8
2-2	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く		2 ウ			62.5	64.0	4.5	3.3	62.5
3-1	「それは掛け値のない、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア		86.1	88.2	0.4	0.2	86.1
3-2	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ		81.9	82.8	0.5	0.2	81.9
4-1	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する		1 エ			61.0	62.8	0.5	0.2	61.0
4-2	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする		2 エ			76.9	79.4	0.6	0.3	76.9
5-1	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる			2 イ		72.7	76.3	0.9	0.5	72.7
5-2	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ		58.6	59.5	0.8	0.4	58.6
6-1	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える		1 オ			68.4	72.4	1.1	0.5	68.4
6-2	話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す		1 オ			61.5	65.8	17.0	13.3	61.5
7-1	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する（ハナイカダ）	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える			1 イ(1) イ(2)		85.6	87.3	1.2	0.6	85.6
7-2	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する			1 イ(1) イ(2)		86.9	88.4	1.5	0.9	86.9
8-1	漢字を書く（紙をひもで <b>ク</b> ハねる）	文脈に即して漢字を正しく書く			2 ウ(1) ウ(2)		80.4	79.0	12.4	13.2	80.4
8-2	漢字を書く（舞台の <b>マ</b> クが上がる）		2 ウ(1) ウ(2)		72.3	72.9	15.4	14.4	72.3		
8-3	漢字を書く（先制点を <b>ユ</b> ルす）		2 ウ(1) ウ(2)		70.2	71.4	21.4	19.5	70.2		

問題別調査結果 [国語A：主として知識]

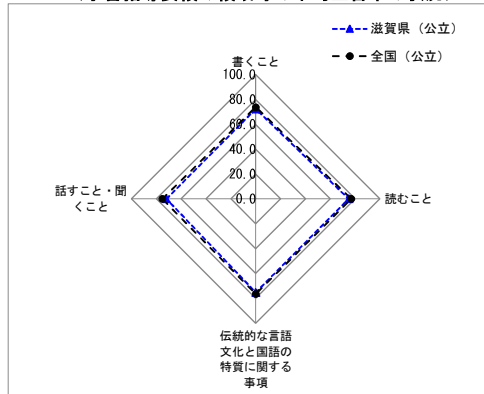
滋賀県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数		滋賀県（公立）	全国（公立）	対象生徒数		滋賀県（公立）	全国（公立）
		102	9,595			12,405	966,764
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）				
			滋賀県（公立）	全国（公立）			
全体		32	75	76.1			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.9	75.2			
	書くこと	4	72.3	73.9			
	読むこと	4	74.8	76.7			
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	75.3	76.5			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0					
	話す・聞く能力	3	71.9	75.2			
	書く能力	4	72.3	73.9			
	読む能力	4	74.8	76.7			
	言語についての知識・理解・技能	21	75.3	76.5			
問題形式	選択式	21	75.2	76.8			
	短答式	11	73.2	74.7			
	記述式	0					

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				正答率（%）		無解答率（%）		県正答率
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
8二1	漢字を読む（模型を作る）	文脈に即して漢字を正しく読む				2 (1) / 7 (7)	95.7	95.7	2.3	1.9	95.7
8二2	漢字を読む（池の水が凍る）		2 (1) / 7 (7)	97.5	97.8	1.3	0.9	97.5			
8二3	漢字を読む（技を磨く）		2 (1) / 7 (7)	97.7	98.1	1.5	1.1	97.7			
8三ア	適切な語句を選択する（立場の異なる両者の主張は終始一直して変わらず、最後まで結論が出なかった）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1 (1) / 9 (9)	75.1	77.7	1.2	0.8	75.1
8三イ	適切な語句を選択する（魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある）		2 (1) / 4 (4)	90.3	91.0	0.9	0.5	90.3			
8三ウ	適切な敬語を選択する（先生が私たちに大切なことをおっしゃった）		2 (1) / 7 (7)	89.6	88.0	1.0	0.6	89.6			
8三エ	適切な語句を選択する（彼はせきを切ったように話し始めた）		1 (1) / 9 (9)	30.2	29.2	1.4	0.9	30.2			
8三オ	適切な語句を選択する（意見の折り合いをつける）		1 (1) / 9 (9)	60.4	61.8	1.4	0.9	60.4			
8三カ	適切な語句を選択する（わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです）		1 (1) / 9 (9)	62.4	65.4	1.4	1.0	62.4			
8三キ	適切な語句を選択する（姉はみんなと一緒に運動することが好きだ。二方、妹は一人で本を読むことが好きだ）		1 (1) / 9 (9)	94.1	95.2	1.3	1.0	94.1			
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する		慣用語の意味を理解する				3・4 (1) / 7 (7)	93.7	94.7	1.1	0.8
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	2 (1) / 9 (9)		20.7	22.3	8.6	6.5	20.7			
8五	作品への助言として適切なものを選択する	1 (2) / 1 (1)		53.2	54.4	1.7	1.2	53.2			
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す（いはく）	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える				2 (1) / 7 (7)	88.7	91.1	7.1	5.1	88.7
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（とほさざるなし）		1 (1) / 7 (7)	58.6	63.0	9.8	7.4	58.6			
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する		2 (1) / 7 (7)	78.5	81.3	2.7	2.2	78.5			



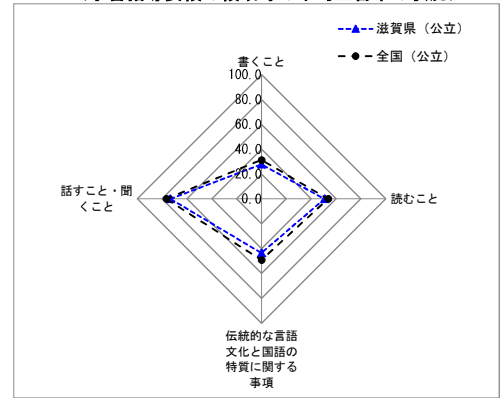
問題別調査結果 [国語B：主として活用]  
滋賀県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数		滋賀県（公立）	全国（公立）	対象生徒数		滋賀県（公立）	全国（公立）
		102	9,594			12,412	966,786
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）				
			滋賀県（公立）	全国（公立）			
全体		9	58	61.2			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.3	76.6			
	書くこと	2	27.9	31.3			
	読むこと	6	50.7	53.5			
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	43.5	49.2			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	47.1	50.3			
	話す・聞く能力	3	73.3	76.6			
	書く能力	2	27.9	31.3			
	読む能力	6	50.7	53.5			
	言語についての知識・理解・技能	1	43.5	49.2			
問題形式	選択式	6	63.8	66.7			
	短答式	0					
	記述式	3	47.1	50.3			

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				正答率（%）		無解答率（%）		県正答率
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える			1 イ		44.9	45.9	0.4	0.2	44.9
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1 エ		60.5	64.3	0.5	0.2	60.5
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く			2 ウ	1 イ	12.2	13.3	11.0	7.0	12.2
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1 エ				83.8	86.8	0.5	0.2	83.8
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	1 エ				85.7	88.3	9.0	5.9	85.7
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	1 イ				50.5	54.6	0.8	0.4	50.5
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ		77.4	80.2	0.7	0.4	77.4
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる			2 イ		65.8	68.2	0.7	0.4	65.8
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く		1 ウ	1 イ	2 ア(イ)	43.5	49.2	19.0	12.4	43.5



# 【中学校数学】重点的に取り組むこと

## 問題解決に至った過程を【振り返る活動】の充実

□問題を解決することで学習を終えるのではなく、どのように問題解決に至ったのかを振り返る活動を充実させる。

- ・本時の学習の振り返りは、生徒が自分の理解したことを整理するために行う学習活動。本時の思考を整理し、思考の隙間を埋めることで学習内容の定着を図る。
- ・学習内容や時間のまとまりを見通した単元計画のもと、学習過程全体の時間配分を考えて【振り返る活動】の時間を生み出す。

生徒の【振り返り】

○ 鉄橋を通る列車の様子は、y軸の6の所に直線をかいて、グラフとの交点をみることで導き出せることがわかった。

✕ ・楽しかったです。

✕ ・列車の運行の様子がわかってよかったです。

【関連する問題】 A問題③(1)④(2)⑧ ⑬ ⑮ B問題全般

### ■解答類型から考えられるつまづき

#### 【A問題】⑮

⑮ 次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 表と裏の出方が同様に確からしい硬貨があります。この硬貨を投げる実験を多数回くり返し、表の出る相対度数を調べます。このとき、相対度数の変化のようすについて、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 硬貨を投げる回数が増えるにつれて、表の出る相対度数のばらつきは小さくなり、その値は1に近づく。

① 硬貨を投げる回数が増えるにつれて、表の出る相対度数のばらつきは小さくなり、その値は0.5に近づく。

ウ 硬貨を投げる回数が増えなくても、表の出る相対度数のばらつきはなく、その値は0.5で一定である。

エ 硬貨を投げる回数が増えなくても、表の出る相対度数の値は大きくなったり小さくなったりして、一定の値には近づかない。

解答類型

ア : 21.7%

① : 37.9%

ウ : 17.3%

エ : 20.9%

【課題】

生徒の解答に大きな偏りは見られなかった。「相対度数」と「確率」を関連付けて理解させる指導が十分でないと考えられる。

授業改善

「硬貨を投げて表が出る確率は1/2である」や「硬貨を2回投げるとそのうち、1回は必ず表が出る」という指導では不十分。実際にグループ等で多数回の試行を行う経験を通して、ある事柄が起こる割合が一定の値(0.5)に近づくことを実感を伴って理解させることが大切です。そして、実感したことを自らまとめ、振り返り、適用問題に取り組むなどして確かな理解へつなげましょう。(ガッテンプリント810)

#### 【B問題】③

(3) 太一さんは、A駅からの道のりが6kmの地点にある鉄橋を通る列車アと列車工の写真撮影したいと考えています。



このとき、A駅からの道のりが6kmの地点において、列車アが通ってから列車工が通るまでにおよそ何分かかるかは、前ページの太一さんが作ったグラフから求めることができます。その方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

解答類型

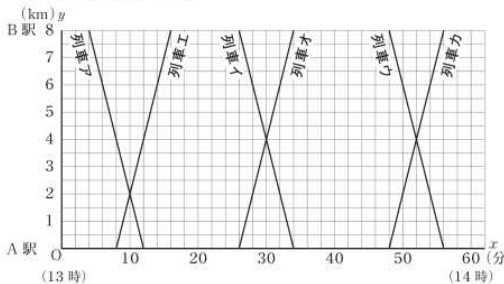
正答率 13.0% 全国比 -0.2%

無解答率 38.5% 全国比 +5.1%

【課題】

「グラフから求めることができます」と問題に示されているにも関わらず、無解答率が高い。生徒は、何から手をつけると良いのかが分かっていないことが予想される。

太一さんが作ったグラフ



授業改善

縦軸と横軸が意味していることや、グラフのどこに着目すればよいのかなど、考えさせたいことを焦点化させることが重要。また、問題を解決した過程を数学的に説明する活動や、その過程を振り返る活動が大切です。思考を整理したのち、適用問題等で定着を図りましょう。(ガッテンプリント803)

問題別調査結果 [数学A：主として知識]

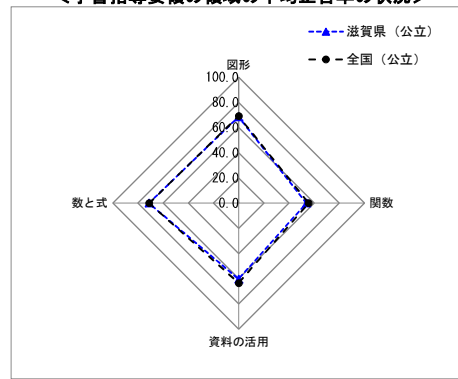
滋賀県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立） 102	全国（公立） 9,591	対象生徒数	滋賀県（公立） 12,422	全国（公立） 966,969
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体		36	65	66.1	
学習指導要領の領域	数と式	12	71.2	71.1	
	図形	12	68.5	69.1	
	関数	8	53.9	55.5	
	資料の活用	4	60.4	63.5	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	14	69.4	70.4	
	数量や図形などについての知識・理解	22	62.6	63.3	
問題形式	選択式	18	60.3	61.5	
	短答式	18	70.2	70.7	
	記述式	0			

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		県正答率
			数と式	図形	関数	資料の活用	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1(1)	数直線上の点が表示負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	1(1)ア				94.2	94.6	0.7	0.4	94.2
1(2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	1(1)ア				76.7	69.0	5.1	7.3	76.7
1(3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	1(1)ウ				70.1	68.9	1.2	1.0	70.1
1(4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1)7.1				54.3	54.2	0.4	0.1	54.3
2(1)	「1個 a kg の荷物3個と1個 b kg の荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	1(2)エ				44.7	41.5	9.1	8.5	44.7
2(2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2(1)ア				90.3	91.0	3.4	2.4	90.3
2(3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	1(2)エ				77.9	78.5	5.5	4.8	77.9
2(4)	等式 $S = \frac{1}{2}ah$ を、aについて解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	2(1)ウ				45.4	48.2	18.7	15.3	45.4
3(1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	1(3)イ				62.6	64.0	1.1	0.6	62.6
3(2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	1(3)ウ				87.5	87.8	5.6	5.0	87.5
3(3)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ				79.1	80.0	6.0	4.6	79.1
3(4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	2(2)ウ				72.0	75.2	1.0	0.6	72.0
4(1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している	小6(1)イ				66.6	67.1	0.7	0.3	66.6
4(2)	$\triangle ABC$ を辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ	折り目の線は作図と角の二等分線の関係を理解している	1(1)ア				54.7	54.9	1.2	0.8	54.7
4(3)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに90°だけ回転移動した図形をかく	回転移動した図形をかくことができる	1(1)イ				62.5	66.1	5.5	4.4	62.5
5(1)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	空間における平面と直線との位置関係（面と辺が平行であること）を理解している	1(2)ア				75.7	74.3	2.0	1.4	75.7
5(2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している	1(2)イ				82.6	82.4	3.4	2.9	82.6
5(3)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	1(2)イ				84.0	83.7	0.6	0.3	84.0
5(4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解している	1(2)ウ				61.5	57.6	0.9	0.5	61.5

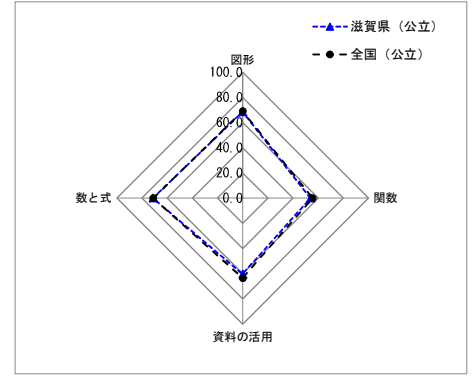
問題別調査結果 [数学A：主として知識]  
滋賀県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立） 102	全国（公立） 9,591	対象生徒数	滋賀県（公立） 12,422	全国（公立） 966,969
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体			36	65	66.1
学習指導要領の領域	数と式	12	71.2	71.1	
	図形	12	68.5	69.1	
	関数	8	53.9	55.5	
	資料の活用	4	60.4	63.5	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	14	69.4	70.4	
	数量や図形などについての知識・理解	22	62.6	63.3	
問題形式	選択式	18	60.3	61.5	
	短答式	18	70.2	70.7	
	記述式	0			

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		県正答率
			数と式	図形	関数	資料の活用	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	2(1)ア				70.6	71.4	0.7	0.4	70.6
6 (2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	2(1)イ				73.5	75.7	0.8	0.4	73.5
7 (1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解している	2(2)ア				70.9	72.0	0.8	0.5	70.9
7 (2)	長方形で成り立ち、ひし形で成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している	2(2)ウ				74.4	78.2	0.9	0.5	74.4
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	2(2)イ				44.7	45.5	1.0	0.6	44.7
9 (1)	比例 $y = 5x$ について、正しい記述を選ぶ	比例 $y = ax$ における比例定数 $a$ の意味を理解している		1(1)イ			63.7	65.5	1.5	1.2	63.7
9 (2)	比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する、 $y$ の変域を求める	与えられた比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求めることができる		1(1)エ			54.9	55.0	14.3	13.0	54.9
9 (3)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している		1(1)エ			52.8	52.8	1.9	1.4	52.8
10	点 $(-2, 3)$ の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる		1(1)ウ			68.9	69.9	3.5	2.9	68.9
11 (1)	一次関数 $y = 2x + 7$ について、 $x$ の値が1から4まで増加したときの $y$ の増加量を求める	一次関数 $y = ax + b$ について、 $x$ の値の増加に伴う $y$ の増加量を求めることができる		2(1)イ			42.3	45.3	17.9	14.8	42.3
11 (2)	一次関数 $y = -2x + 6$ が表すグラフを選ぶ	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a$ と $b$ の値とグラフの特徴を関連付けて理解している		2(1)イ			52.2	56.3	1.4	0.9	52.2
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している		2(1)ア			37.0	36.4	1.4	1.0	37.0
13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している		2(1)ウ			59.3	62.7	2.3	1.9	59.3
14 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出ている値であることを理解している		1(1)ア			64.7	68.4	1.9	1.4	64.7
14 (2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる		1(1)ア			72.5	74.0	5.6	4.6	72.5
15 (1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している		2(1)ア			37.9	40.2	2.3	1.8	37.9
15 (2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	表などを利用して、確率を求めることができる		2(1)ア			66.3	71.3	13.0	9.7	66.3

\* 評価の観点は、数量や図形についての知識・理解(小学校)に対応させている。

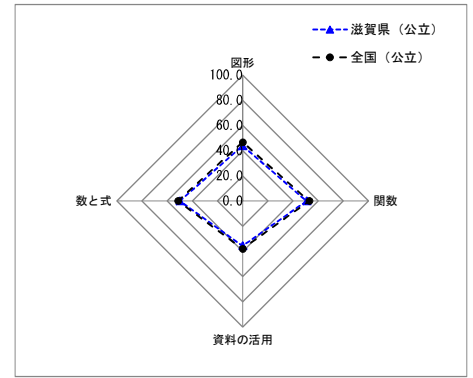
問題別調査結果 [数学B：主として活用]  
滋賀県一生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県（公立） 102	全国（公立） 9,591	対象生徒数	滋賀県（公立） 12,428	全国（公立） 966,908
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			滋賀県（公立）	全国（公立）	
全体			14	45	46.9
学習指導要領の領域	数と式	4	49.8	51.4	
	図形	3	43.9	46.7	
	関数	3	50.8	52.8	
	資料の活用	4	35.6	38.0	
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	10	43.1	45.1	
	数学的な技能	4	48.8	51.3	
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	59.0	61.5	
	短答式	7	53.6	56.2	
	記述式	5	26.5	27.9	

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率(%)		無解答率(%)		県正答率
			数と式	図形	関数	資料の活用	滋賀県（公立）	全国（公立）	滋賀県（公立）	全国（公立）	
1(1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる				小5 数量 (3) 1(1) イ	52.4	55.7	13.6	11.1	52.4
1(2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる				2(1) 7.4	41.6	43.9	9.8	7.0	41.6
1(3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの理由を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる				2(1) イ	34.4	36.2	29.0	24.9	34.4
2(1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	1(1) ウ				87.3	89.5	6.3	4.4	87.3
2(2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	2(1) 4.9				36.2	37.5	30.1	25.0	36.2
2(3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができる	2(1) 4.9				66.3	68.3	1.6	1.1	66.3
3(1)	列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができる				2(1) 4.1	65.4	67.6	0.8	0.5	65.4
3(2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる				2(1) 4.1	74.0	77.7	9.4	6.9	74.0
3(3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる				2(1) 4.1	13.0	13.2	38.5	33.4	13.0
4(1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる	2(2) ウ				52.5	55.4	1.2	0.7	52.5
4(2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する	発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる	2(2) 4.9				39.8	42.4	7.6	6.2	39.8
4(3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見いだし、説明することができる	2(2) ウ				39.4	42.3	30.5	24.6	39.4
5(1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる				小5 数量 (3)	14.0	16.0	28.7	24.1	14.0
5(2)	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	2(1) イ				9.6	10.4	8.3	6.6	9.6

\* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている。

## 【中学校理科】重点的に取り組むこと

### 理科の基礎的・基本的な知識・技能の定着

～「ガッテンプリント」の活用～

#### □単元計画の充実を図る。

基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習と、それを活用する探究的な過程を重視した学習をバランスよく実施する。

#### □「ガッテンプリント」を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る取組を行う。

【取組例】※実施のポイント：学期末の評価や定期テストに結び付けたものにする。

例1：毎授業の始めの5分間を基礎学力の定着にむけた帯の学習時間と位置づけ、基礎的・基本的な知識等の確認テストを実施する。

テストの内容は事前に伝え、家庭学習とつなげる。

例2：現在、学校で実施している基礎学力の定着にむけた取組に、理科の問題プリントを加えて実施する。

【関連する問題 主に「知識」に関する問題】

ガッテンプリント：中学校理科1・2年生の学習内容に対応した基礎・基本問題があります。

#### ■解答類型から考えられるつまずき

問題ごとの平均正答率（%）において、本県と全国との差が大きい問題（4ポイント以上低いもの）の7割が、主として「知識」に関する問題（6問中4問）であった。

5 [ 本県平均正答率：51.8%（全国との差-5.4） 無解答率：10.6%（全国との差+3.5） ]

(1) 下線部の反応の経路を下のように示したとき、 X  に適する語句を書きなさい。

目 →  X  → 脳・<sup>せきずい</sup>脊髄 → 運動神経 → 筋肉

解答類型 「運動神経」2.3%、「中枢神経」12.4%、「末しょう神経」3.6%、「その他」19.3%、無解答10.6%

感覚器官と脳をつなぐ神経を、運動神経や中枢神経等であると誤って捉えていたり（18.3%）、無解答（10.6%）であったりするなど、神経系の働きの知識が身に付いていない。

6 [ 電流 本県平均正答率：72.4%（全国との差-4.8） 無解答率：15.6%（全国との差+4.0）  
抵抗 本県平均正答率：47.0%（全国との差-4.9） 無解答率：19.1%（全国との差+4.5） ]

(2) 豆電球に3.0Vの電圧を加えたときの回路に流れる電流を、表1から求めなさい。  
また、このときの豆電球の抵抗の大きさは何Ωですか。

解答類型 電流 「1.8」0.4%、「0.42」0.5%、「0.07」0.5%、「1.5、3.0」2.5%、「その他」8.0%、無解答15.6%

解答類型 抵抗 「0.5、50」6.3%、「1.8」6.9%、「0.2」2.6%、「30」0.6%、「その他」17.2%、無解答19.1%

表から問われている電流の値を読み取る技能が身に付いていないことや、必要な値を表から読み取っているものの「オームの法則」が使えず誤答（9.5%）であったり、無解答（19.1%）であったりするなど、「オームの法則」を使って抵抗の値を求める知識が身に付いていない。

8 [ 本県平均正答率：79.4%（全国との差-4.1） ]

(1) アルミニウムの原子の記号を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア AL イ AI ウ aL エ aI

解答類型 「ア AL」8.4%、「ウ aL」3.5%、「エ aI」7.6%、無解答1.0%

誤った表し方の選択肢を選択する（19.5%）など、原子の記号の表し方についての知識が身に付いていない。

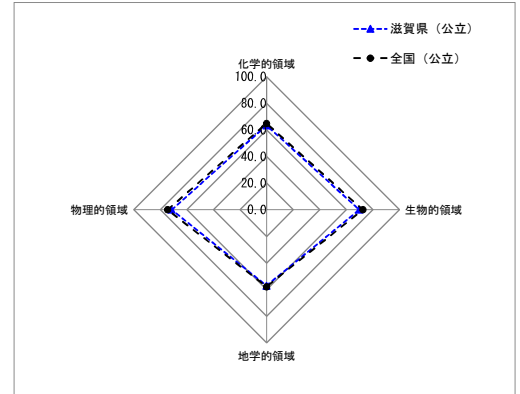


・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

**集計結果**

対象学校数	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	対象生徒数	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
	102	9,588		12,425	967,188
分類	区分		対象問題数 (問)	平均正答率 (%)	
	全体			滋賀県 (公立)	全国 (公立)
枠組み	主として「知識」に関する問題		11	66.0	67.9
	主として「活用」に関する問題		16	63.0	64.9
学習指導要領の分野等	第1分野 物理的領域		7	71.4	74.4
	化学的領域		8	63.5	65.0
	第2分野 生物的領域		6	69.8	72.5
	地学的領域		7	57.1	57.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度		1	68.5	74.0
	科学的な思考・表現		16	62.7	64.9
	観察・実験の技能		4	66.1	67.0
	自然事象についての知識・理解		8	66.6	68.7
問題形式	選択式		17	69.8	70.9
	短答式		4	66.0	70.2
	記述式		6	47.1	50.1

**<学習指導要領の分野等の平均正答率の状況>**



**問題別集計結果**

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み	学習指導要領の分野等				正答率 (%)		無解答率 (%)		
				主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野 物理的領域	第2分野 生物的領域	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	
1 (1)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる	○	(1)ア(7)				58.5	61.7	0.3	0.1	58.5
1 (2)	光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	テレプロンプターモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	○	(1)ア(7)				71.3	73.7	0.4	0.2	71.3
2 (1)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識・問題解決の技能を活用することができるかどうかをみる	無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる	○			(3)ウ(4)		84.6	86.2	0.3	0.1	84.6
2 (2) 低い濃度		濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる	○			(2)イ(7)		75.8	76.5	2.1	1.2	75.8
2 (2) 3.0%の濃度		濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる	○			(2)イ(7)		49.7	46.9	2.1	1.3	49.7
2 (3)		「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を指摘できる	○			(3)ウ(4)		78.0	79.7	0.3	0.2	78.0
2 (4)		1つの要因を変えたとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる	○			(3)ウ(4)		55.7	61.3	13.7	9.5	55.7
3 (1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる	○			(4)ア(7)		37.6	37.5	0.5	0.2	37.6
3 (2)		太平洋高気圧(小笠原気団)の特徴についての知識を身に付けている	○			(4)ウ(7)		65.5	67.3	0.6	0.4	65.5
3 (3)		シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる	○			(4)ウ(7)		51.1	52.3	10.1	7.9	51.1
4 (1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	ガスバーナーの空気の量を調節する場所を指摘できる	○			(2)ア(7)		74.6	73.4	0.7	0.4	74.6
4 (2)		炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	○			(4)イ(4)		42.6	44.1	19.4	15.5	42.6
4 (3)		化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	○			(4)イ(7)		47.0	49.4	18.4	16.2	47.0
5 (1)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事象・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	神経系の働きについての知識を身に付けている	○			(3)イ(4)		51.8	57.2	10.6	7.1	51.8
5 (2)		反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる	○			(3)イ(4)		59.8	62.8	0.9	0.5	59.8

県正答率

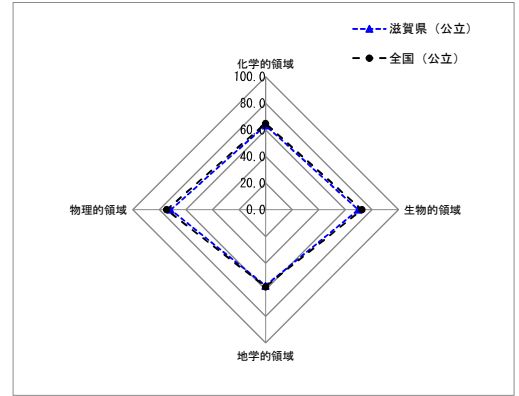


・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	対象生徒数	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
	102	9,588		12,425	967,188
分類	区分		対象問題数 (問)	平均正答率 (%)	
	全体			滋賀県 (公立)	全国 (公立)
枠組み	主として「知識」に関する問題		11	66.0	67.9
	主として「活用」に関する問題		16	63.0	64.9
学習指導要領の分野等	第1分野 物理的領域		7	71.4	74.4
	化学的領域		8	63.5	65.0
	第2分野 生物学的領域		6	69.8	72.5
	地学的領域		7	57.1	57.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度		1	68.5	74.0
	科学的な思考・表現		16	62.7	64.9
	観察・実験の技能		4	66.1	67.0
	自然事象についての知識・理解		8	66.6	68.7
問題形式	選択式		17	69.8	70.9
	短答式		4	66.0	70.2
	記述式		6	47.1	50.1

<学習指導要領の分野等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み		学習指導要領の分野等				正答率 (%)		無解答率 (%)		
			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野 物理的領域	第1分野 化学的領域	第2分野 生物学的領域	第2分野 地学的領域	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	
6 (1)		電流計は回路に直列に接続するという技能及び電流計の電気用記号の知識を身に付けている	○						67.9	70.5	0.8	0.4	67.9
6 (2)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	○						72.4	77.2	15.6	11.6	72.4
6 (2)	抵抗	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○						47.0	51.9	19.1	14.6	47.0
6 (3)		豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	○						89.6	91.4	1.1	0.6	89.6
7 (1)		地震の揺れの強さが震度であること。S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	○						56.5	55.1	0.8	0.4	56.5
7 (2)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	○						77.8	78.5	0.9	0.5	77.8
7 (3)		初期微動継続時間の長さと震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる	○						93.0	94.4	5.3	3.6	93.0
8 (1)		アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている	○						79.4	83.5	1.0	0.6	79.4
8 (2)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる	○						70.4	72.0	1.0	0.6	70.4
8 (3)	また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を思いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を思いだし探究を深めようとしているアルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができる	○						68.5	74.0	25.9	20.3	68.5
9 (1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている	○						89.1	88.0	1.0	0.6	89.1
9 (2)		植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	○						17.9	19.4	26.4	21.4	17.9

県正答率

活用ください～子どもたち一人ひとりの学びを見取り、確かな学力を育むために～

○「学びの基礎チャレンジ」県独自の評価問題（10月末配付予定）

○「ガッテンプrint」基礎的・基本的な学力定着のための補充学習プリント  
（12月データ追加予定）

☛「ガッテンプrint」は県総合教育センターのwebページ（トップページのバーナー）よりダウンロードできます。

○ 全国学力・学習状況調査問題

新学習指導要領に示された理念を具現化した評価問題です。

☛過去の全国学力・学習状況調査の問題は国立教育政策研究所のwebページより、ダウンロードできます。